

洗顔後に行く「当たり前ケア」が 肌トラブルの原因になっている

洗顔石鹸・クレンジング、保湿化粧品やオイル化粧品を使った「取り除いては補う」という「当たり前」のスキンケア習慣が、肌の自然治癒力(皮脂・汗分泌機能、表皮新陳代謝、血液循環など)を疲弊させ、乾燥敏感肌をはじめ、くすみ、しみ、しわ、たるみ、にきび、アトピー、テカリなど様々なトラブルをつくりだしています。特に、保湿・オイル化粧品を使った「フタをする」スキンケアは、肌の自然治癒力を妨げ、乾燥を悪化させ肌トラブルを加速させます。

この「日頃当たり前に行っているケア」が、実は肌トラブルの原因になっていることを知り、理解することが大切です。

※洗顔後、化粧水・クリーム・乳液・美容液・オイルなどをつけないでいると(素肌だと)つっぱり・乾燥・ガサガサする。「つぱる・乾燥する・ガサガサするから基礎化粧品を使う」と、洗顔後の素肌がつっぱることが当たり前と知っている方がほとんどです。実はここが間違いで、問題なのがつっぱるのが当たり前だと捉えていることです。さらに、洗顔後保湿液を使うとこれらの症状がピタッと治まるため、今のケアで問題なしと捉えていることです。

しかし、つっぱる=肌の自然治癒力が低下しているということで、この状態で従来の基礎化粧品(特に乳液・クリーム・美容液・オイルなどの保湿液)を使い続けると、ますます自然治癒力が低下します。乾燥、くすみ、しみ、しわ、たるみ、毛穴、ニキビ、アトピーなどの悪化につながり、やがて素肌がポロポロになっていきます。

本来、洗顔後何もつけなくてもつっぱることはありません。肌に自然治癒力が備わっているからです。肌自ら、適度に油分(皮脂・セラミド)を分泌し、皮膚内部の水分蒸散を防いだり、皮膚のなめらかさを保ったりします。肌の自然治癒力が機能していれば、例え60歳、70歳になっても、基本的に洗顔後何もつけなくても自然にしっとりするようになっています。

海の森化粧品は、肌の自然治癒力をしっかりサポートすることで、多少時間はかかっても使うほど洗顔後のつっぱりが解消され、結果素肌そのものが美しくなっていくのが特長です。安い「化粧水」を使って、「肌の自然治癒力」には「ない」ほうがよい乳液・クリーム・美容液・オイルなどの保湿液を使わせる従来の「美の演出」重視のスキンケアとは違います。

海の森は、高いと言われようが「肌の自然治癒力」に必要とされる化粧水はつくりましたが、「肌の自然治癒力」に不要な乳液・クリーム・美容液・オイルなどの保湿液はつくりません。

※髪(地肌)に関するトラブルも、シャンプー・トリートメント・オイルを使った「当たり前ケア」が大きな原因です。